

第27回 墨田清掃工場 運営協議会

日 時 令和6年3月4日（月） 午後6時00分から

場 所 東京二十三区清掃一部事務組合 墨田清掃工場 2階会議室

目 次

1	操業状況について	
(1)	操業状況	
①	搬入、搬出	2・3
②	炉稼働状況	4・5
(2)	区民の声対応状況	6
2	環境調査結果について	
(1)	排ガス調査結果	8・9
(2)	排水調査結果	10・11
(3)	騒音調査結果	12
(4)	振動調査結果	13
※	参考図＝騒音・振動調査地点位置図	14
(5)	臭気調査結果	15
(6)	ごみ性状調査結果	16
(7)	ダイオキシン類調査結果	17
(8)	周辺大気中のダイオキシン類調査結果	18
※	参考図＝調査場所概略図	19

1 操業状況について

1 - (1) 操業状況

① 搬入、搬出

項 目		単 位	令和5年					
			2月	3月	4月	5月	6月	7月
ごみ搬入	墨田区収集	t	878	1,671	3,938	4,263	2,848	3,739
	他区収集	t	122	1,339	4,723	5,945	432	3,970
	持込搬入量	t	103	156	2,681	2,972	588	1,708
	搬入量合計	t	1,103	3,166	11,341	13,180	3,868	9,416
	墨田区割合 注1	%	80	53	35	32	74	40
	平均搬入量 注2	t/日	46	117	454	488	149	362
	搬入台数	台	2,130	3,840	10,160	12,069	4,284	8,862
	平均搬入台数 注2	台/日	89	142	406	447	165	341
	搬入日数	日	24	27	25	27	26	26
灰搬出	搬出量	t	0	89	1,372	1,628	542	799
	平均搬出量 注3	t/日	0	18	55	60	60	42
	搬出台数	台	0	14	267	308	86	158
	平均搬出台数 注3	台/日	0	3	11	11	10	8
	搬出日数	日	0	5	25	27	9	19

※ 端数処理のため、内訳と合計が一致しない場合があります。

注1 全搬入量に対する割合です。

注2 各月の平均搬入量、平均搬入台数は搬入量合計、搬入台数を搬入日数で除した値です。

注3 各月の平均搬出量、平均搬出台数は搬出量、搬出台数を搬出日数で除した値です。

速報値

令和5年					令和6年	合計	平均値
8月	9月	10月	11月	12月	1月		
4,034	3,808	3,931	3,881	4,175	2,341	39,508	3,292
6,291	6,192	3,953	6,527	5,668	1,766	46,925	3,910
2,728	3,313	420	3,158	2,603	92	20,522	1,710
13,053	13,312	8,305	13,565	12,446	4,199	106,954	8,913
31	29	47	29	34	56		45
483	512	319	522	461	175		341
12,029	12,071	8,138	12,676	11,068	4,244	101,571	8,464
446	464	313	488	410	177		324
27	26	26	26	27	24	311	26
1,502	1,238	799	1,383	1,463	1,000	11,815	985
56	48	40	53	56	67		46
330	263	156	275	273	153	2,283	190
12	10	8	11	11	10		9
27	26	20	26	26	15	225	19

1 - (1) 操業状況

② 炉稼働状況

項目	単位	令和5年					
		2月	3月	4月	5月	6月	7月
ごみ 焼却量	t	0	3,574	13,354	13,101	625	10,485
稼働 日数	日	0	11	30	31	1	25
停止 日数	日	注1 28	注1 20	0	0	注2 29	注2 6
平均 焼却量	t/日	0	325	445	423	625	419

※ 端数処理のため、内訳と合計が一致しない場合があります。

注1 定期補修工事のため、計画停止しました。(令和5年1月9日～令和5年3月20日)

注2 中間点検のため、計画停止しました。(令和5年6月2日～令和5年7月6日)

注3 焼却炉本体設備不具合のため停止、補修しました。(令和5年10月6日～10月18日)

注4 ボイラ設備不具合のため停止、補修しました。(令和5年12月2日～12月5日)

注5 定期補修工事のため、計画停止しました。(令和6年1月11日～)

速報値

令和5年					令和6年	合計	平均値
8月	9月	10月	11月	12月	1月		
13,388	12,437	7,421	13,181	11,603	4,111	103,280	9,389
31	30	18	30	27	10	244	22
0	0	注3 13	0	注4 4	注5 21	121	
432	415	412	439	430	411		423

1 - (2) 区民の声対応状況

受付年月日	相談者	内 容	対応経過
<p>昨年2月から本年1月までの間に 工場が要因となる区民の声等はありませんでした。</p>			

2 環境調査結果について

2-(1) 排ガス調査結果

調査機関：株式会社環境技術研究所

項目	基準値		調査年月日			単位
	法律	自己規制値	令和5年4月21日	令和5年5月16日	令和5年7月18日	
ばいじん	0.08	0.02	<0.001	<0.001	<0.001	g/m ³ N
硫黄酸化物	30	20	<1	<1	<1	ppm
窒素酸化物	84	60	38	35	36	ppm
塩化水素	430	15	<2	<2	<2	ppm
水銀	50	—	0.15	0.13	0.36	μg/m ³ N

(注)

- 1 全水銀は環境省が提示した表記方法に則り、定量下限値未満で検出下限値以上の数値は括弧書きで示します。
- 2 各項目の値は、酸素濃度12%換算値です。
- 3 m³N(ノルマル立方メートル)は、0°C、1気圧の標準状態における気体の体積を表します。
- 4 ppmは、100万分の1の割合を表します。

項目	基準値		調査年月日			単位
	法律	自己規制値	令和5年9月15日	令和5年11月17日	令和6年1月5日	
ばいじん	0.08	0.02	<0.001	<0.001	<0.001	g/m ³ N
硫黄酸化物	30	20	<1	<1	<1	ppm
窒素酸化物	84	60	35	37	38	ppm
塩化水素	430	15	<2	<2	<2	ppm
水銀	50	—	0.53	0.53	0.33	μg/m ³ N

2-(2) 排水調査結果

調査機関：ユーロフィン日本環境株式会社

No.	項目	基準値	調査年月日						単位
			令和5年 2月3日	令和5年 4月3日	令和5年 6月7日	令和5年 8月4日	令和5年 10月5日	令和5年 12月6日	
1	温度	45未満	13.5	24.1	27.8	34.2	31.5	22.5	°C
2	水素イオン濃度 (pH)	5を超え 9未満	6.8	6.9	6.7	6.9	7.3	7.1	—
3	生物化学的酸素要求量 (BOD)	600未満	9	13	31	89	48	37	mg/L
4	浮遊物質 (SS)	600未満	3	2	3	4	4	4	mg/L
5	ノルマルヘキサン抽出物 質含有量	30以下	<1	<1	<1	1	<1	<1	mg/L
6	フェノール類	5以下	<0.05	<0.05	0.06	0.09	0.07	0.08	mg/L
7	銅及びその化合物	3以下	<0.01	0.03	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	mg/L
8	亜鉛及びその化合物	2以下	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	mg/L
9	鉄及びその化合物 (溶解性)	10以下	0.2	<0.1	0.1	0.3	<0.1	<0.1	mg/L
10	マンガン及びその化合物 (溶解性)	10以下	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	mg/L
11	クロム及びその化合物	2以下	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	mg/L
12	窒素含有量	120未満	10	9.2	13	14	12	17	mg/L
13	燐含有量	16未満	<0.05	0.07	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	mg/L
14	沃素消費量	220未満	<1	2	25	48	30	19	mg/L
15	カドミウム及びその化合物	0.03以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	mg/L
16	シアン化合物	1以下	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	mg/L
17	有機燐化合物	1以下	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	mg/L
18	鉛及びその化合物	0.1以下	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	mg/L
19	六価クロム化合物	0.5以下	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	mg/L
20	砒素及びその化合物	0.1以下	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	mg/L
21	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	0.005以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	mg/L

No.	項目	基準値	調査年月日						単位
			令和5年 2月3日	令和5年 4月3日	令和5年 6月7日	令和5年 8月4日	令和5年 10月5日	令和5年 12月6日	
22	アルキル水銀化合物	検出されないこと	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	mg/L
23	ポリ塩化ビフェニル (PCB)	0.003以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	mg/L
24	トリクロロエチレン	0.1以下	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	mg/L
25	テトラクロロエチレン	0.1以下	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	mg/L
26	ジクロロメタン	0.2以下	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	mg/L
27	四塩化炭素	0.02以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	mg/L
28	1,2-ジクロロエタン	0.04以下	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	mg/L
29	1,1-ジクロロエチレン	1以下	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	mg/L
30	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.4以下	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	mg/L
31	1,1,1-トリクロロエタン	3以下	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	mg/L
32	1,1,2-トリクロロエタン	0.06以下	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	mg/L
33	1,3-ジクロロプロペン	0.02以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	mg/L
34	ベンゼン	0.1以下	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	mg/L
35	1,4-ジオキサン	0.5以下	<0.05	<0.05	<0.05	0.06	<0.05	<0.05	mg/L
36	シマジン	0.03以下	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	mg/L
37	チオベンカルブ	0.2以下	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	mg/L
38	チウラム	0.06以下	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	mg/L
39	セレン及びその化合物	0.1以下	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	mg/L
40	ふっ素及びその化合物	15以下	0.40	1.0	0.63	0.76	0.57	0.56	mg/L
41	ほう素及びその化合物	230以下	0.64	0.39	0.66	0.83	0.84	0.97	mg/L

2-(3) 騒音調査結果

調査年月日：稼働時 令和4年12月1日(木)～2日(金)

停止時 令和5年1月12日(木)～13日(金)

調査機関：株式会社CTIウイング

単位：デシベル

時間区分	昼間			夕			夜間			朝		
調査時間	(13時～15時)			(20時～22時)			(0時～2時)			(6時～8時)		
調査地点	基準値	稼働時	停止時	基準値	稼働時	停止時	基準値	稼働時	停止時	基準値	稼働時	停止時
①	70	62	47	60	51	41	55	42	41	60	49	48
②		60	45		50	42		42	41		48	48
③		61	46		52	45		45	44		49	49
④		64	47		56	48		49	46		50	50
⑤		66	50		49	49		51	49		52	51
⑥		67	48		50	47		49	47		53	52
⑦		53	49		44	46		47	43		57	58
⑧		62	47		50	45		49	44		60	50
⑨		68	55		53	47		48	46		50	53
⑩		57	50		59	44		45	43		48	50

(調査地点は、P.14を参照してください。)

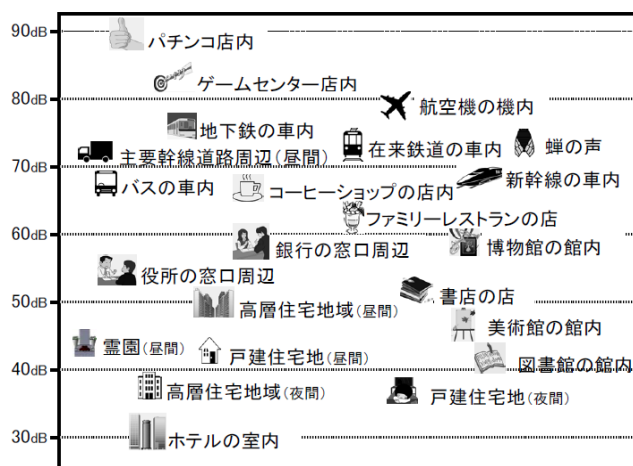


図 騒音の目安(都心・近郊用)
(出典「全国環境研協議会 騒音小委員会」)

2-(4) 振動調査結果

調査年月日 : 稼働時 令和4年12月1日(木)~2日(金)

停止時 令和5年1月12日(木)~13日(金)

調査機関 : 株式会社CTIウイング

単位:デシベル

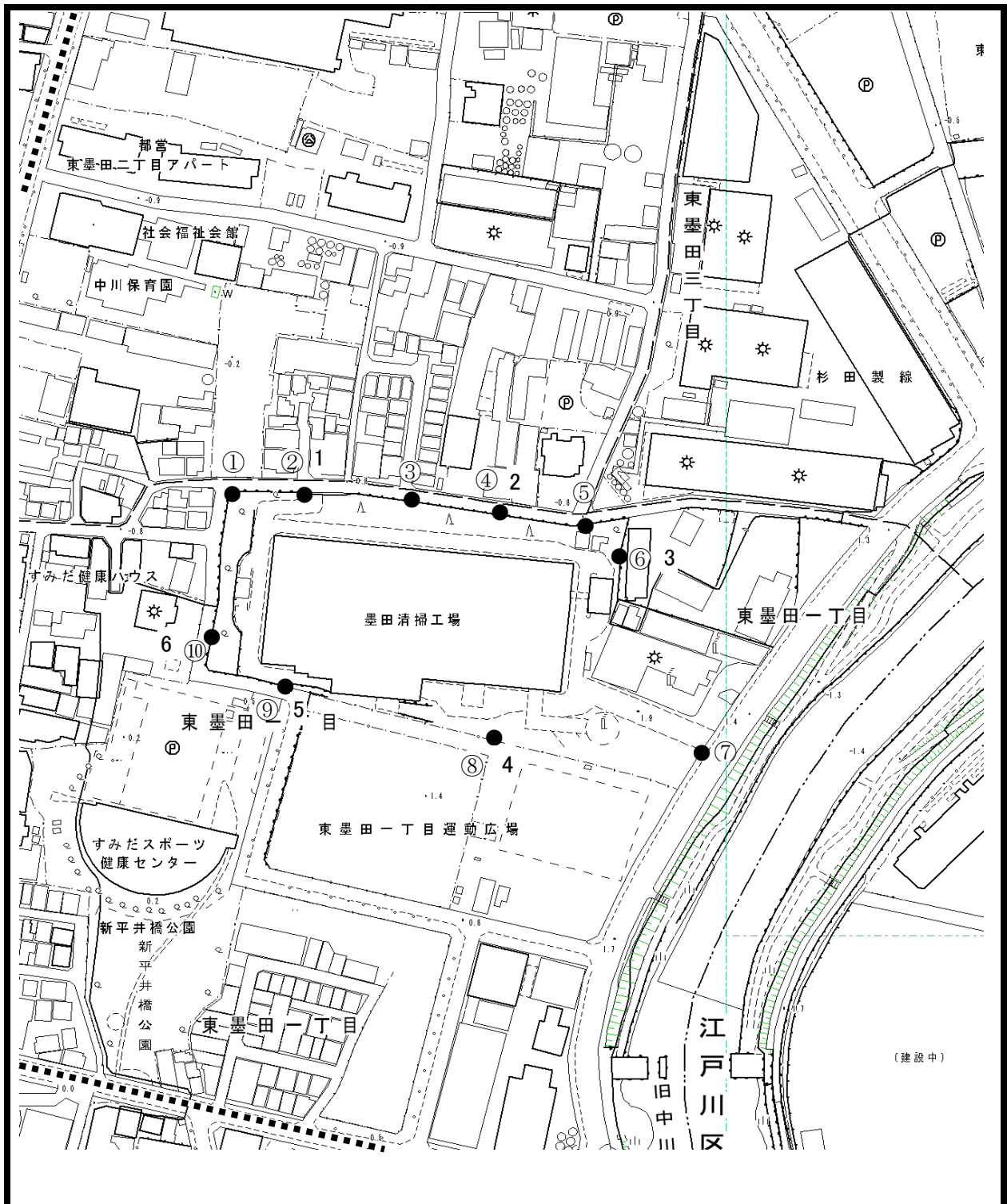
時間区分	昼間			夜間		
調査時間	(13時~15時)			(0時~2時)		
調査地点	基準値	稼働時	停止時	基準値	稼働時	停止時
1	65	39	38	60	30	30
2		44	41		38	33
3		44	39		43	31
4		40	36		34	26
5		38	35		28	25
6		38	36		25	25

(調査地点は、P.14を参照してください。)

【振動のめやす】 出典:「東京の環境2011」(東京都環境局)

デシベル	50	60	70	80	90
状態	人体に感じない程度	静止している人にだけ感じる	大勢の人に感じる程度で、戸、障子がわずかに動く	家屋が揺れ、戸、障子がガタガタと音をたてる	家屋が激しく揺れ、すわりの悪いものが倒れる

騒音・振動調査地点位置図



凡 例	
-----	都市計画用途地域境界
●	騒音・振動調査地点
①	騒音調査地点番号 (①～⑩)
1	振動調査地点番号 (1～6)

N



縮尺 : 1/2500

2-(5) 臭気調査結果

調査年月日：令和5年9月4日(月)

調査機関：株式会社むさしの計測

項目	基準値	調査地点			定量下限値
		①	②	③	
臭気指数	13	10未満	10未満	10未満	10

(調査地点は、下図を参照してください。)

(注)

臭気指数は、試料を臭気を感じられなくなるまで無臭空気希釈したときの倍率(希釈倍率)をもとに、人の嗅覚の特性に合うように計算して求めた値です。

臭気の測定方法は、「大気試料は10倍希釈から測定を開始」と定められています。

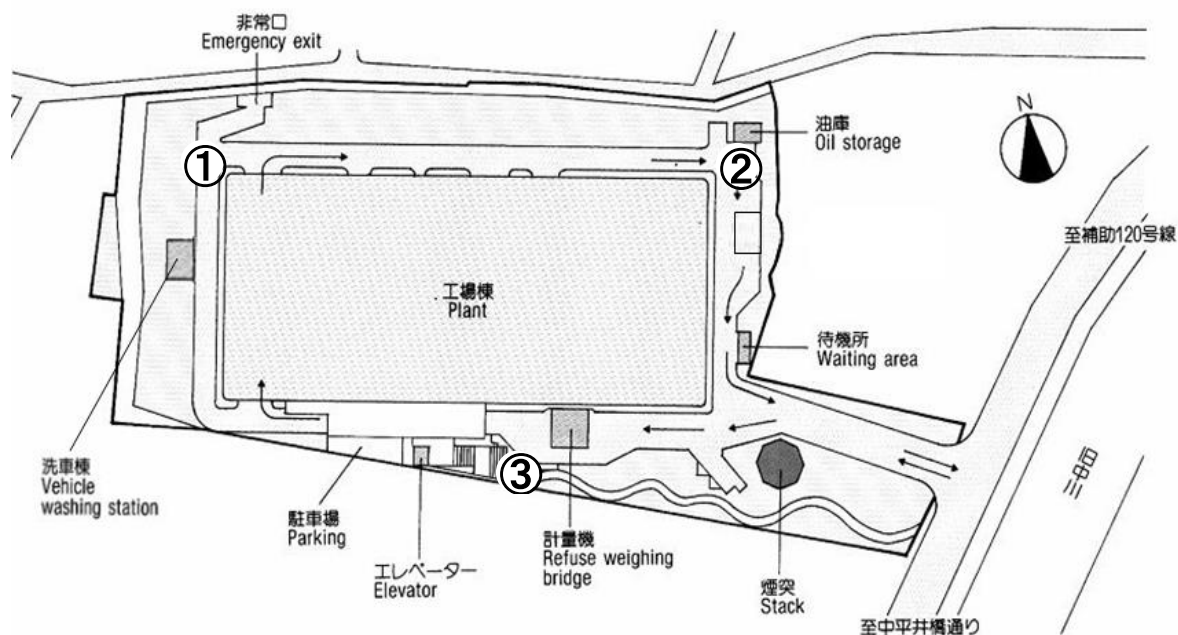
この10倍希釈において臭気を感じられない場合、臭気指数は10未満となります。

(参考)

臭気指数 = $10 \times \log(\text{希釈倍率})$

例：試料を100倍に希釈したときの臭気指数 $10 \times \log 100 = 10 \times 2 = 20$

【臭気調査地点】



2-(6) ごみ性状調査結果

調査機関：ユーロフィン日本環境株式会社

(ごみの物理組成(湿ベース重量%))

分類項目	調査年月日	(令和4年度) 第3回 令和4年 11月16日	(令和4年度) 第4回 令和5年 1月4日	(令和5年度) 第1回 令和5年 4月17日	(令和5年度) 第2回 令和5年 7月21日	平均値
可燃物		99.15	97.81	98.63	97.54	98.28
	紙類	36.43	39.62	38.22	38.71	38.25
	繊維	4.95	9.01	9.28	6.96	7.55
	厨芥	28.88	20.34	20.55	20.95	22.68
	木草	4.49	2.78	5.01	3.09	3.84
	プラスチック類	20.50	21.85	21.63	23.33	21.83
	ゴム・皮革	0.65	1.40	1.19	1.14	1.10
	その他可燃物	3.26	2.81	2.75	3.34	3.04
不燃物		0.85	2.19	1.37	2.46	1.72
	金属	0.44	1.40	0.36	0.46	0.67
	ガラス	0.11	0.18	0.15	0.16	0.15
	石・陶器	0.00	0.05	0.26	0.03	0.09
	その他不燃物	0.30	0.56	0.60	1.81	0.82
合計		100.00	100.00	100.00	100.00	100.00

(注)
端数処理のため、平均値または合計が一致しない場合があります。

2-(7) ダイオキシン類調査結果

調査機関：ユーロフィン日本環境株式会社

項目	基準値	調査値	調査年月日	単位
排ガス	1	0.00000053	令和5年4月21日	ng-TEQ/m ³ N
		0.00000022	令和5年11月17日	
飛灰処理汚泥	-	0.099	令和5年6月2日	ng-TEQ/g
焼却灰	3	0.017	令和5年4月21日	ng-TEQ/g
排水	10	0.00041	令和5年4月21日	pg-TEQ/L

(注)

- 1 ダイオキシン類は、ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン、ポリ塩化ジベンゾフラン、コプラナーポリ塩化ビフェニルの総称です。
- 2 TEQ(毒性等量)とは、ダイオキシン類の量を最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性に換算した値です。
- 3 排ガス中のダイオキシン類の値は、酸素濃度12%換算値です。
- 4 ng(ナノグラム)は10億分の1グラム、pg(ピコグラム)は1兆分の1グラムの質量を表します。
- 5 m³N(ノルマル立方メートル)は、0°C、1気圧の標準状態における気体の体積を表します。
- 6 飛灰処理汚泥は、飛灰を薬剤処理(ダイオキシン類対策特別措置法で定められた処理)しているため、基準値は適用されません。

2-(8) 周辺大気中のダイオキシン類調査結果

- 1 調査年月日 令和5年9月25日(月)～10月2日(月) (稼働時7日間連続サンプリング)
- 2 調査場所 工場及び周辺4か所の計5か所
- 3 調査方法 ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル(環境省:令和4年3月)
- 4 調査機関 ユーロフィン日本環境株式会社
- 5 調査結果

No.	調査場所	所在地	調査値	単位
1	墨田清掃工場	墨田区東墨田1-10-23	0.010	pg-TEQ/m ³
2	旧隅田小学校	墨田区墨田5-49-5	0.012	
3	墨田区立第一寺島小学校	墨田区東向島1-16-2	0.014	
4	墨田区立東吾孺小学校	墨田区立花4-22-11	0.014	
5	葛飾区立上平井小学校	葛飾区西新小岩4-22-1	0.010	

(調査場所は、P.19を参照してください。)

(注)

- 1 ダイオキシン類は、ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン、ポリ塩化ジベンゾフラン、コプラナーポリ塩化ビフェニルの総称です。
- 2 TEQ(毒性等量)とは、ダイオキシン類の量を最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性に換算した値です。
- 3 pg(ピコグラム)は、1兆分の1グラムの質量を表します。

調査日の天気

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
晴後曇後晴	晴後曇後雨	曇後晴後曇	晴後曇後晴	曇時々晴一時雨	曇後晴後曇	曇後晴

調査日の気象条件(7日間の平均値)

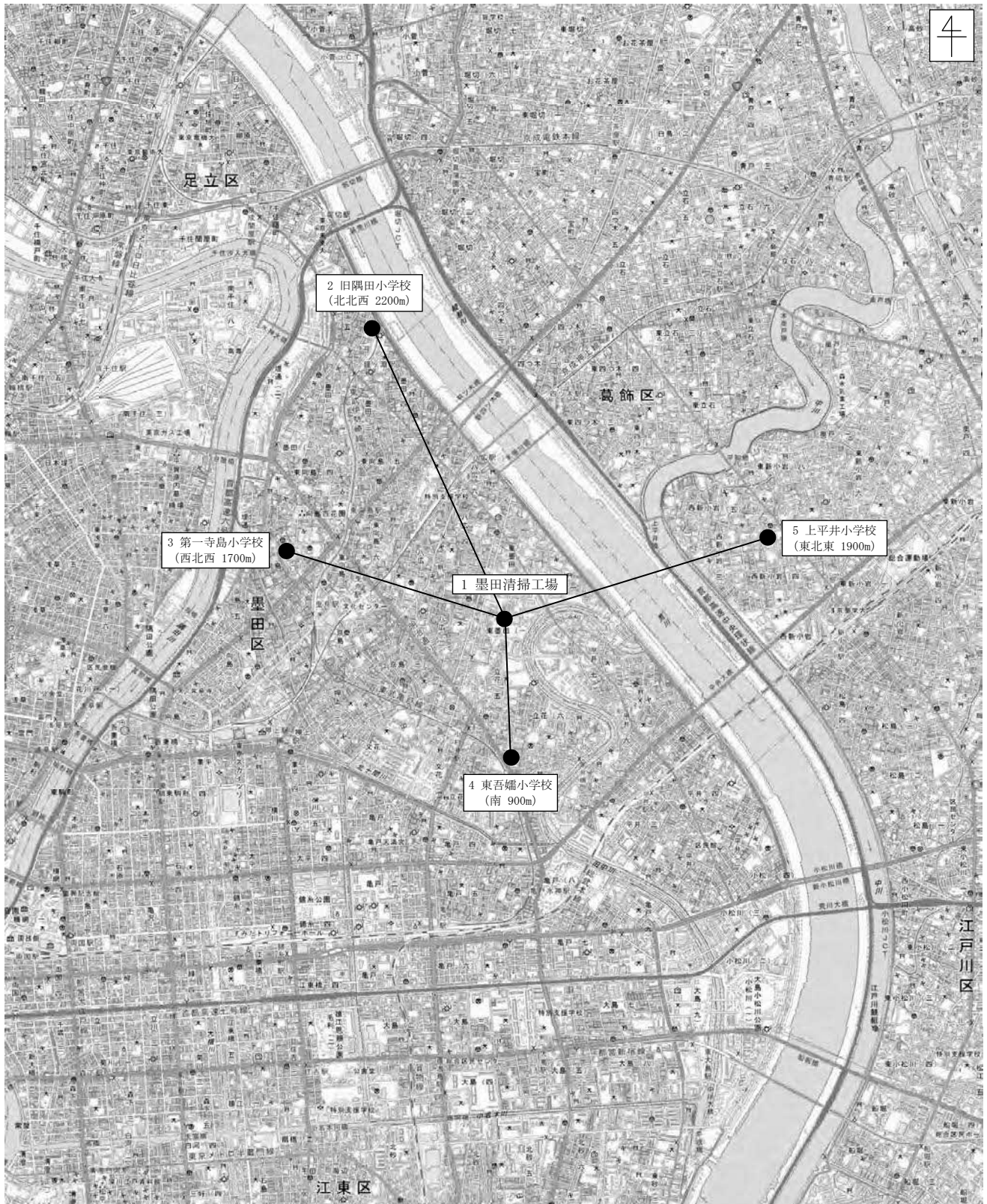
気温	湿度	雨量	主な風向	風速
29.1℃	95%	0.0mm	東北東	2.5m/s

(注) 雨量は7日間の合計値を示し、風向は最多出現を示します。

6 まとめ

- (1) 調査結果の値は、環境省が定める大気中ダイオキシン類の環境基準である0.6pg-TEQ/m³(年平均値)と比べ、十分に低い値である。
- (2) 墨田清掃工場煙突でのダイオキシン類調査結果(0.00000053 ng-TEQ/m³N: 令和5年4月21日測定)と調査日の気象条件等から大気拡散シミュレーションを行ったところ、拡散倍率は32万倍、周辺大気環境に与える影響は最大で0.0000000016 pg-TEQ/m³Nであり、調査結果と比べて小さい。
- (3) 以上のことから、今回の調査結果では墨田清掃工場の排ガス中のダイオキシン類が周辺大気環境に与える影響は極めて小さいといえる。

周辺大気中のダイオキシン類調査場所概略図



「出典：国土地理院地図（GSI Maps）」